

子どもからの視点

代表 諏訪きぬ

脚の具合がやっと治まってきたのを潮に、この8月、10日間ほど北欧の保育の旅に行ってきました。訪ねたのはデンマーク・コペンハーゲンの森の幼稚園、スウェーデン・ストックホルムの民営化した保育園と子育てひろば、フィンランド・ヘルシンキの保育園です。福祉の国・北欧諸国の保育施設には、共通点が多くありましたが、もっとも印象深かったのは、子どもの育ちの視点から保育環境づくりがなされていることでした。最後のヘルシンキの保育園の例をあげてみましょう。6才の就学前の子ども30人を2クラスに分け、各クラスの担任は2名。保育室以外に2クラス向けに、ままごとセットなどを揃えたごっこ遊びの部屋、材料・素材を揃えた製作の部屋（一度に4人まで）、絨毯敷きのお話の部屋が用意されていました。午前中2時間は雨天に関係なく外遊び。ゆったりした保育内容と人的・物的条件の良さが、個別的で集団的な保育を支え、高い学力を育てていくのですね！

幼稚園見学会、終わりました。

先日の“西武学園さやま幼稚園”の見学会をもって、今年度の幼稚園見学会も盛況のうちに終わりました。

どちらの幼稚園も、快く受け入れて下さり、熱心に案内及び園の姿勢の説明をして下さいました。皆さん「どの幼稚園も魅力的で、ウーン…迷っちゃう…」と、うれしい声も…。「だからこそ見学させていただいて、ご自分のお子さんに合う園との出会いを持ってね」と話しました。10月15日願書配布。11月1日受付です。時間があるようでないですね。“誰かが行くから”ではなく、わが子のための園との出会いを持って下さいね。決まりましたら、プレイスまで連絡下さい。



タッチケア(キャリアアップ編)

今年度のタッチケアも終わりました。

当日は14組の親子の皆さんが、バスタオルの上の子どもとふれあい、ゆったりした時間を過ごしました。本当にのんびりしたひとときでした。一般の来所者の人もたくさんいらっしゃっていたのですが、そこだけ別の空気が流れていて…。来年、また行きます。今年参加できなかった方も来年は参加してみてください。



タッチケア～後日談～

「タッチケアのあと家に帰って3歳のお兄ちゃん（保育園児）にもやってあげたんです。そしたら“ママありがとう”またやってね…って言ったんです」と満面の笑顔で伝えてくれたお母さん！私はその瞬間、感動で鳥肌が立ちました。そして“やったね～！”お母さんと抱き合っていたのです。♡♡♡



夢いっばいあそぼ (シュシュ祭り)

シュシュの日、申し込んだ人は午前10人程でしたのに、なぜか次々来所される方々。午前だけで56人の親子ども達！新しい人をお連れしてのなつかしいお顔！3人



目が生まれていたんです、とまたまた新しく赤ちゃんとの出会い…。その中でシュシュづくり。壁側にコーナーを作ったの作成でしたが、またそこだけ別世界…子ども達の世界もできていました。

